

中学校・高等学校国語科学習指導の研究

伊木 洋

Hiroshi Igi

文学部／日本語日本文学科

教授／博士（教育学）



研究業績データベース



YouTube公式動画

キーワード

国語科教育学／国語単元学習／国語科実践研究／話すこと・聞くことの学習指導／書くことの学習指導／読むことの学習指導／読書生活指導／学校図書館／大村はま／ブックコミュニケーション

研究概要・実践活動

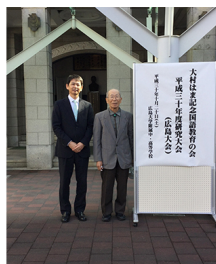
学習者を主体とする国語科学習指導の実践理論について研究しています。大村はま国語教室をはじめ国語単元学習の研究を中心に、話しことば教育の研究、書くことの教育の研究、読むことの教育の研究、読書生活指導の研究、語句・語彙指導の研究、学校図書館を活用した学習指導の研究、国語科実践個体史研究、国語科授業研究、国語科学習者研究、ブックコミュニケーションに関する研究などに取り組んでいます。また、学校現場に参入させていただいて、単元構想の段階から指導者の先生と協議し、学習者の実態を踏まえた学習者主体の学習指導を創造する実践研究に取り組んでいます。



ノートルダム清心女子大学日本語日本文学会
国語教育部会国語教育研究会第100回例会（三時の会）



伊木洋研究室にて



大村はま記念国語教育の会 広島大会恩師橋本
暢夫先生とともに



大村はま国語教室全15巻別巻1

研究・社会活動実績

2025年日本国語教育学会西日本集会広島大会分科会（中学校ことば）指導助言者、2025年岡山県立岡山操山操山高等学校教育研究会国語部会（読むこと・漢文）指導助言者、2024年日本国語教育学会西日本集会大阪大会分科会（小中連携教育）指導助言者、2024年岡山県中学校国語教育研究大会浅口大会分科会（読むこと）指導助言者、2024年鳥取県中学校教育研究会国語部会研究大会分科会（書くこと）指導助言者。

産学官連携の可能性

単元構想の段階から指導者の先生と協議し、学習者の実態を踏まえた学習者主体の学習指導を創造する共同実践研究が可能です。

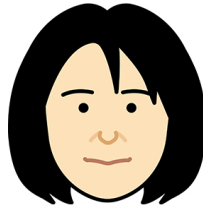
歌がつなぐ学びと文化

江草 弥由起

Miyuki Egusa

文学部／日本語日本文学科

講師／博士（文学）



研究業績データベース



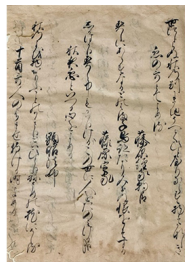
YouTube公式動画

キーワード

和歌／歌人／私家集／古典学／書誌学／古典籍／黒川家

研究概要・実践活動

平安時代末期から南北朝期の韻文（和歌）を対象とし、主に藤原定家を中心とした歌人および私歌集の研究をしています。歌学は古典学の基盤となるものであり、和歌表現からは文学的な事柄だけでなく、儀礼や風俗などについても検討していくことが可能です。そのため近年は、ノートルダム清心女子大学が所蔵する江戸時代の国学者黒川家が3代に渡って蒐書した歌学関連の古典籍資料から、近代化する社会の中でなされた古典学の継承のあり方についての研究も進めています。また、大学の授業にて古典籍を扱った資料調査・読解の授業を積極的に取り入れ、後進の育成にも励んでいます。



研究・社会活動実績

論文「真頼考『新勅撰集愚考』を中心とした黒川家古典学についての一考察」（『日本文学研究ジャーナル』31号、古典ライブラリー、令和6年）国内共同研究「黒川家旧蔵資料の調査研究—江戸から明治期の〈知〉の流通と古典学の学術体系の解明—」（基盤研究(C)、令和5年4月～）講演「佐竹本三十六歌仙絵巻の変遷と魅力に迫る」（倉敷市教育委員会 倉敷市民学習センター、令和7年3月）

産学官連携の可能性

資料調査から、地域が所有する古典籍資料の文学的価値や地域における資料価値を明らかにすることで、所有する資料を有意義な財産とする助力が可能です。また、それらの資料を公開にするあたり、有効な展示構成の提案、キャプション作成に関与することができます。その他には、大学授業の実践例を応用し、古典籍資料を用いた体験型の学びの場を提供することもできます。

万葉集から古代を紡ぎ出す

東城 敏毅

Toshiki Tojo

文学部／日本語日本文学科

教授／博士（文学）



研究業績データベース



YouTube公式動画

キーワード

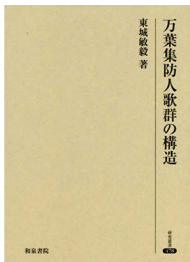
上代日本文学／古代文化／万葉集／日本神話／東歌・防人歌／地域研究／正宗敦夫

研究概要・実践活動

①『万葉集』「防人歌」の作者層は、従来、東国の貧民階級に属する一般防人兵士とされてきましたが、作者名表記や歌の分析から、地方においては、ある程度の身分に属する上層階級の者と結論づけました。したがって、防人歌の「読み」は、通説とはまったく異なった側面が浮上してくるようになります。②古代地方文化の創成と展開をダイナミックに描き出すことを目的として、考古学や歴史学の先生方との共同研究を実施しています。その一環として、『万葉集』「東歌」と古代交通との関連を検討しています。③正宗敦夫の知の蓄積でもある正宗文庫（岡山県備前市穂浪）を総合的に解明する共同研究（国文学研究資料館「特定研究」）に従事しています。



文学・考古学・歴史学の先生方との共同研究



万葉集防人歌群の構造



奈良県立万葉文化館委託共同研究



ゼミの風景



3年ゼミ万葉旅行（飛鳥）

研究・社会活動実績

『万葉集』の魅力を一一般の方々にも理解していただけるよう、例年、山陽新聞カルチャープラザ講座、玉島市民交流センター講座、菊池寛記念館文芸講座、早島町立図書館古典文学講座、大阪天満宮國學院大學夏期講座、等で講演を実施しています。また、東城ゼミは、古代文学を体感・実感することを重要視しており、毎年、3年飛鳥・奈良研修、4年京都研修、大学院（ならびに卒業生）大阪・奈良研修等の「万葉旅行」を実施しています。

産学官連携の可能性

現在、上代文学会・美夫君志会の理事、さらに全国大学国語国文学会の事務局委員長を務め、研究基盤である学会の発展に寄与しています。その研究の人的つながりももとに、歴史文化資源を発掘する地域の活性化を進めることができます。例えば、万葉集・古事記神話、さらには「正宗敦夫」をもとにした地域の魅力発信・情報誌の制作や教育連携（講演会や講座のみならず、ワークショップや地域文化教育の展開）の可能性が考えられます。

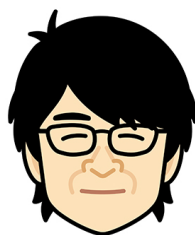
平安期を中心とした物語文学についての研究

中井 賢一

Kenichi Nakai

文学部／日本語日本文学科

教授／博士（文学）



研究業績データベース YouTube公式動画

キーワード

物語構造／人物造型／表現／『源氏』享受／本文／教材開発

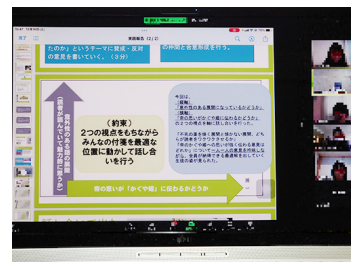
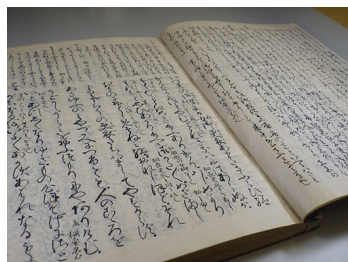
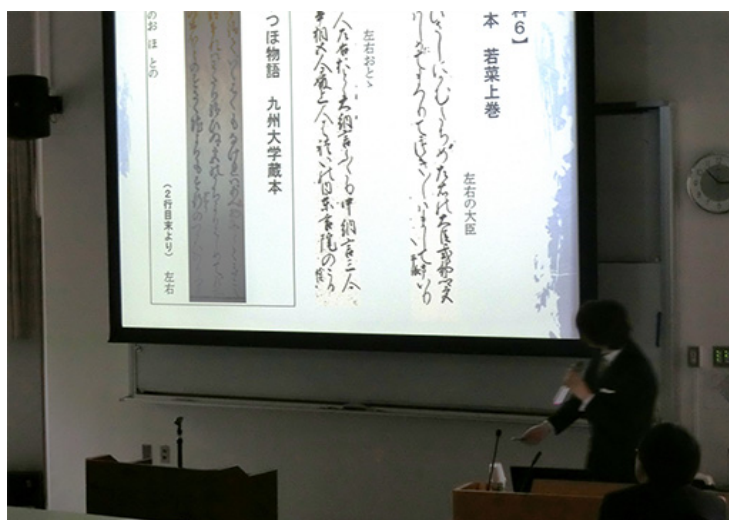
研究概要・実践活動

【研究概要1 ①『源氏物語』の研究／②『源氏物語』享受の研究】

・①は、『源氏』における表現や人物造型の特徴を手掛かりに、物語展開の法則やそれを支える物語構造について明らかにするもの、②は、中古・中世物語における『源氏』享受の様相を手掛かりに、当該物語の『源氏』との位置関係について明らかにするものです。

【研究概要2 教材開発を含む古典文学教育の研究】

・様々な散文テキストを対象に、国語科教育学上の今日的課題に即した指導方法について具体的場面と共に提案するものと、テキスト自体を新たに発掘した上で指導方法まで検討するものがあります。



研究・社会活動実績

【社会活動】

・「文学・教育研究会」を主催しています。本研究会は、私が熊本県立大学に在勤中の2016年、(i)文学研究と(ii)文学教育、に関する少人数の勉強会としてスタートしました。中高現場の先生方と、研究者や教育者を志す学生たちが、文学と教育を媒介に、様々な研究交流・実践交流を行うことのできる場となることを目指しています。

産学官連携の可能性

研究の成果や手法を教育の現場にフィードバックすること、いわば、「研究」と「教育」を接続することを通して、地域のお役に立てれば幸いです。

時代を超える太宰治と普遍性の文学

長原しのぶ

Shinobu Nagahara

文学部／日本語日本文学科

教授／博士（文学）



研究業績データベース YouTube公式動画

キーワード

太宰治／文学と戦争／文学とキリスト教／翻案小説／文学とサブカルチャー／教科書の中の文学

研究概要・実践活動

太宰作品の魅力は絶妙なバランスで死と生が同居する所にあります。言葉の数々が時代を超えて私達の心に響きます。反面教師とも思える太宰ですが、その作品は人間関係という普遍的な問題を追求し、コミュニケーションが多様だからこそ困難を抱えて生きる私達に某かのヒントをもたらす力があります。また、太宰作品は現代のカルチャーと結びつき、映画・漫画・アニメでは死の影を背負ってニヒルにほほ笑む太宰治の姿が定着しています。そのキャラクターを生み出す時代背景と社会を理解し、作品の新たな魅力を追求しています。太宰治に限らず近現代の作家と小説を対象に、時代を超えて享受される作品の持つ普遍的な力とは何かを解明することに取り組んでいます。



単著『太宰治の〈生〉』



共著『太宰治と戦争』



共著『新世紀 太宰治』

研究・社会活動実績

近現代（明治から現在まで）の小説を対象に研究を行っています。一番のメインは太宰治です。『太宰治の〈生〉』では、太宰治という作家と作品が愛される理由を問いました。亡くなって既に70年以上が経過する今なお漫画・アニメ・映画の中に太宰というキャラクターは生きています。幅広い年代に受け入れられる、その不思議な魅力の解明に挑み続けています。文学講座では太宰治を中心とした近現代の文学の魅力を広く伝えています。

産学官連携の可能性

太宰を例にとってもその作品と作家像は漫画、アニメ、映画という現代の新たな表現媒体に広がっています。教科書レベルの既存の共有知識を利用して生まれる新たなキャラクターが発信する言葉と生き方は多くの人の心に刺さっています。その魅力を生み出す社会の磁場と抱える問題を見つめ、生きづらさの間われる社会の中を生きるためのヒントを文学がもたらす可能性を考えていきます。

日本文学研究から解明する文学と信仰の意義

山根 知子

Tomoko Yamane

文学部／日本語日文学科

教授／博士（文学）



研究業績データベース

YouTube公式動画

キーワード

宮沢賢治／坪田譲治／文学と信仰／文学とSDGs

研究概要・実践活動

日本近代文学のなかで特に宮沢賢治と坪田譲治の文学研究から同時代の文学と信仰との関係についての解明をめざしています。宮沢賢治研究では、妹トシの信仰の在り方が、兄賢治の信仰の変遷へと影響したとして明らかにしてきました。こうした宮沢賢治の信仰の解明とともに、同時代において影響関係にある数多くの宗教者たちの特徴を見出すことが可能となりました。坪田譲治研究でも、人が求めてやまない信仰の心が譲治文学の奥底に秘められていることを見出してきました。こうした文学と信仰の問題を、カトリック司祭井上洋治神父が創めた、キリスト教の文化内開花をめざす「風の家」の活動を継承し文筆と活動を行うなかで模索しています。



『賢治の前を歩んだ妹 宮沢トシの勇進』（春風社）



『人物誌大系47 坪田譲治』（日外アソシエーツ）



研究・社会活動実績

岡山出身の坪田譲治研究とともに、岡山市が制定した坪田譲治文学賞の運営委員を長年務めてきたなかで、文学による地域活性化・普及活動について進めてきました。2017年から学生グループ「ツボジョーワールド探検隊」（ツボジョーは坪田譲治の愛称）とともに、岡山市や地域団体と連携した行事の運営や冊子作成を続けてきました。文学が人々の心を豊かにし平和に導き、またSDGs活動の原動力になることを確信しています

産学官連携の可能性

岡山市は坪田譲治文学を軸に、2023年10月に「ユネスコ創造都市ネットワーク」の文学分野に加盟が認定されました。その当初の提言から現在まで「文学によるまちづくり部会」部員として活動をしてきた経験から、これまで岡山市を基盤に文学を通して産学官連携の活動を進めてきました。今後は岡山で国際会議開催の可能性もあり、岡山の観光推進をはじめ、岡山と日本の各地を文学で結ぶ連携の可能性を探っています。